

# じゅしゅう

## 光寿無量

旧年中は大変お世話になりました。  
 できなかったことを悔やむのではなく、  
 できたことを喜びたいと思います。できる  
 ことを精一杯努めてまいります。  
 本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

吉富山浄覚寺 寺族一同



第45号  
(通算385号)

発行元  
 浄土真宗本願寺派  
 吉富山 浄覚寺  
 大阪市平野区  
 長吉長原3-1-10  
 06-6790-8350

### 浄覚寺子ども会 中止

十二月十八日、今年もいつもの通り「浄覚寺子ども会冬のつどい」を開催するはずでした。制作やゲーム、ご法話の内容を考え、スケッチやジュールなどが一目でわかるようにレジメを作成しました。また、制作は指導の仕方をイメージしながら試作品を作ります。初めて参加してくれる子供たちにはお経本とお念珠をプレゼントしていますから、足りない備品などを確認し、制作に必要なものを購入しておきます。

このように、準備は順調に進んでおりましたが、なんとコロナの荒波がお寺にも来てしまいました。住職も濃厚接触から陽性となり、

### 浄覚寺ヨガ教室

- ・1月18日(水) 10時~11時半
- ・参加費500円
- ・浄覚寺本堂にて

☆ヨガマットは無料貸し出しもありますので、ぜひご参加お待ちしております。

しばらく療養が必要となります。普段の法務のことも心配だったので、子ども会のことをお悩みました。子ども会当日には療養期間も終わっているはずでしたが、その間も準備は進めなければなりません。けれど、特に今年の制作は手打ちうどんを予定していましたから、ウィルスを持つまま準備をすることは良くないと思います。残念ながら中止の判断をさせていただきました。参加の申し込みをいただいた方や、ご協力いただいていた方にはご迷惑をおかけいたしました。申し訳ありませんでした。



如来所以興出世

唯説弥陀本願海

如来世に興出したまふゆきは

ただ弥陀の本願海を説かんとなり

親鸞聖人『正信念仏偈』



# 御文章に聞く(第39回)

参考文献：『御文章 ひらがな版を読む』 天岸淨圓著 本願寺出版社

今回も御文章(蓮如上人からのお手紙)を味わっていきたいと思います。末代といわれる末法の時代にあつて、智慧もなく、在家の生活をおくる人び

**末代無智章(五帖第一通)**  
末代無智の・在家止住の男女たらんともがらは、こころをひとつにして・阿弥陀仏をふかたのまいらせて、さらに余のかたへこころをふらず・一心一向に仏たすけたまえと申さん衆生をば、たとい罪業は深重なりとも・かならず弥陀如来はすくいませすべし、これすなわち・第十八の・念仏往生の誓願のこころなり、かくのごとく決定してのうえには・ねてもさめてもいのちのあらんかぎり、称名念仏すべきものなり、あなかしこ あなかしこ

とは：・。仏教では信者を出家と在家に分けます。「出家」とは出世間のこととて、親子、夫婦、兄弟という肉親の縁を絶ち切り、財産をはじめ社会的地位や名譽という世俗の欲望をすべて捨て去り、一筋に仏道修行に精進し、戒律をまもり、さまざまな行を修して、仏道の完成をめざす者のことです。このような「出家」に対して「在家」とは、家庭に在る者という意味です。それは親子、夫婦などの人間関係や、地域や社会とのつながりの中に生きる者を意味します。たとえ一人の生活でも、男性は男性として、女性は女性として、社会的にも経済的にもさまざまな制約を受け、種々の人間関係の中で生きてゆくわけです。このような中で仏法を依りどころとして生きようとする者を在家の信者といいます。

# 仏教語辞典



**海** うみ  
親鸞は仏の救いと、迷い苦しむ私たちを同じ海に例えている。「本願海(救い)」「愛欲海(迷い)」など。さとりの世界と迷いの世界を同じ言葉で表現しているのは、私たちが迷い苦しんでいるからこそ救済する仏が存在しているという構造を表現している。例えば豪雪地帯の新潟県では2mを超える積雪がある地方が少なくない。

『気になる仏教語辞典』  
著・麻田弘潤 誠文堂新光社  
仏教にまつわる用語をイラストとわかりやすい言葉で読み解かれています。ぜひお買い求めください。

# 編集後記

今月も「じゅこう」をお届け致します。コロナ感染によりごども会を中止させて頂きました。致し方ないとはいえ、心苦しいことでありました。手打ちうどんの粉(中力粉)がたくさん余りました。しばらくうどんが続くことになりそうです。今年もお世話になり有難うございました。良いお年をお迎えください。(釋法進)

豪雪の中の生活は大変な苦勞をともない時に命を奪われることもある。しかし春になるとその雪は水となり、多くのいのちが育まれていく。一面的に見ると大きな障害となるものが、多面的に見ると逆にいのちを育むものになって、全く別を感じるものでも別ではないのである。

# 2月

**第三回 仏教文化講演会**  
日時・二月十二日(日) 十四時より  
講師・当山住職  
テーマ・『新制 御本典作法』練習会  
親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要のために新たに制定されました。令和五年四月、当山の報恩講法要で依用しますので練習させていただきます。

# 行事案内

日時・令和五年一月一日(祝) 十四時より  
行事・元旦会  
場所・長原淨覺寺  
法話・新發田恵司先生(大阪)  
新年のご挨拶をさせていただきます。ぜひお参りなさってください。  
(なお、一月の月参りは六日から伺います)